

地域学校協働連携NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



中山風穴見学 ～下郷町立旭田小学校～

8月29日(金)、旭田小学校4年生の中山風穴見学取材しました。

下郷町には、山腹の岩石のすき間から冷風が吹き出すため、本来は標高が高く涼しい場所でしか生息していない植物を見ることができる「中山風穴」という場所があります。中山風穴に生息する植物群落は、国の天然記念物に指定され、冷風を感じる体験ができる施設や遊歩道が整備されています。



<旭田小学校教諭より>

将来地域を離れてしまう子供もいます。町を大切にする気持ちを持ち、自分たちの町の素晴らしさを伝えていける子供たちに育ってほしいと思います。

今回は、総合的な学習の時間の中で見学に来ていますが、よさを伝えていくという目的をもって見学することで、国語科の新聞づくりの学習にもつなげたいと考えています。

<旭田小学校児童の感想>

いろいろな植物もあるし、空気もおいしいし、涼しくて気持ちいいです。世界中の人に中山風穴に来てほしいです。



<旭田小学校児童の感想>

今日は見るできない植物もあったけれど、天然記念物とか、絶滅しそうな生き物をずっと守ってみたいです。



<旭田小学校児童の感想>

知らない植物がたくさんありました。中山風穴では絶滅してしまった植物もあるそうなので、復活させて、もとの中山風穴に戻したいと思いました。



案内をしていただいた星さんによると、「天然記念物となっているこの地では木を切ることができない。木が大きくなってしまったため太陽で地面が温められなくなり、空気の循環がうまくいかず、冷風が昔ほど出てなくなってしまった。今後、このような貴重な植物はここで見るができなくなってしまうかもしれない…」とのことでした。

それを聞いた子供たちからは、「めっちゃ貴重じゃん!」「絶対無くしたくない!」の声が。その後の見学では、あちらこちらから、「先生!何か花が咲いてる!」「この生き物は何ですか?」と様々な発見の声が上がります。

貴重な自然を見ることができなくなるかもしれないという危機感や地域を守っていききたいという気持ちが、必要感をもった学びにつながっていると感じました。

